

○ 本校の概要

30年度創立80周年記念式典を6月16日(土)に実施した。
 東糀谷小学校の児童数(439名)学級数(17学級特別支援学級3学級含む)教職員(48名)29・30年度大田区教育研究奨励校「すべての児童の分かる・できる授業」(各教科のユニバーサルデザイン化を目指して)児童は明るく人懐っこいところが長所である。最後まで粘り強く頑張れないところが短所である。誰にも声をかけ挨拶できるところが長所である。相手に合わせて伝えたいことを整理して伝えることは苦手である。一人一人に「分かる・できる授業」を通して、意欲的に学ぶ態度、やり遂げた達成感をもてるように授業改善している。また、縦割り活動にも重点を置いている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組今後の改善策	学校関係者記入欄	
								評価	人数
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	4:全クラスで毎月5冊以上本を借りたり、家からもってきた本で朝読書がしっかりできた。(クラス別貸出記録より)	4:			A	
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4:学期に2~3回知らせた。 3:学期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。	3:全クラスで毎月4冊以上本を借りたり、家からもってきた本で朝読書がしっかりできた。(クラス別貸出記録より)	3:			B	
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%以下の教員が働きかけた。	2:全クラスで毎月3冊以上本を借りたり、家からもってきた本で朝読書がしっかりできた。(クラス別貸出記録より)	2:			C	
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々のコミュニケーション能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	1:全クラスで毎月2冊以上本を借りたり、家からもってきた本で朝読書がしっかりできた。(クラス別貸出記録より)	1:			D	
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。						
		学校図書館を毎週利用し、月5冊以上の本を借りる。(図書館司書との連携・朝読書の徹底・読書旬間の表彰)	4:全クラスが月5冊以上の本を借りた。 3:全クラスが月4冊以上の本を借りた。 2:全クラスが月3冊以上の本を借りた。 1:全クラスが月2冊以上の本を借りた。						
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4:6年生の85%以上が縦割り活動で意欲的に取り組み自信がついたとアンケートで答えることができた。	4:			A	
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4:学期に2~3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。	3:6年生の80%以上が縦割り活動で意欲的に取り組み自信がついたとアンケートで答えることができた。	3:			B	
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	2:6年生の75%以上が縦割り活動で意欲的に取り組み自信がついたとアンケートで答えることができた。	2:			C	
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4:必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要な事案に対しておおかた会議を実施した。 2:必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。	1:6年生の70%以上が縦割り活動で意欲的に取り組み自信がついたとアンケートで答えることができた。	1:			D	
		月一度の縦割り活動に全教員で6年生指導支援する。(縦割り遊び&リーダー清掃&リーダー給食&挨拶運動)	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。						
		新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4:年間の全クラスの記録から、4月の最初に比べ、50回を超すクラスが70%であること。(取り組み表より)	4:			A	
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	3:年間の全クラスの記録から、4月の最初に比べ、50回を超すクラスが60%であること。(取り組み表より)	3:			B	
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	2:年間の全クラスの記録から、4月の最初に比べ、50回を超すクラスが50%であること。(取り組み表より)	2:			C	
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	1:年間の全クラスの記録から、4月の最初に比べ、50回を超すクラスが40%であること。(取り組み表より)	1:			D	
		長縄オリンピックへの取り組みを推進する。(長縄マナー&マナーマラソンの取り組み結果表に測定結果を記録する)	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。						
		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4:全教職員の90%が年間3回の職員作業に参加し学校の教材・教具が整理整頓され、使いやすいと感じている。(教職員アンケートより)	4:			A		
		4:学期に2~3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。	3:全教職員の85%が年間3回の職員作業に参加し学校の教材・教具が整理整頓され、使いやすいと感じている。(教職員アンケートより)	3:			B		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	2:全教職員の80%が年間3回の職員作業に参加し学校の教材・教具が整理整頓され、使いやすいと感じている。(教職員アンケートより)	2:			C				
4:月1回以上行った。 3:学期に2~3回行った。 2:学期1回以上行った。 1:実施しなかった。	1:全教職員の80%が年間3回の職員作業に参加し学校の教材・教具が整理整頓され、使いやすいと感じている。(教職員アンケートより)	1:			D				
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりたい。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4:月1回以上更新した。 3:学期に2~3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。	4:記録から全教職員の90%が年間3回の地域連携行事に参加した。	4:			A	
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	4:毎月情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。	3:記録から全教職員の90%が年間3回の地域連携行事に参加した。	3:			B	
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。	4:学期に2~3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	2:記録から全教職員の90%が年間3回の地域連携行事に参加した。	2:			C	
		地域の行事に教職員が参加し連携を図る。(盆踊り&夏祭り・地域防災行事・自治会と保護者連携行事での「80周年記念持久走大会」)	4:90%の教職員3回以上参加した。 3:80%の教職員3回以上参加した。 2:70%の教職員3回以上参加した。 1:60%教職員3回以上参加した。	1:記録から全教職員の90%が年間3回の地域連携行事に参加した。	1:			D	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
 ○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。